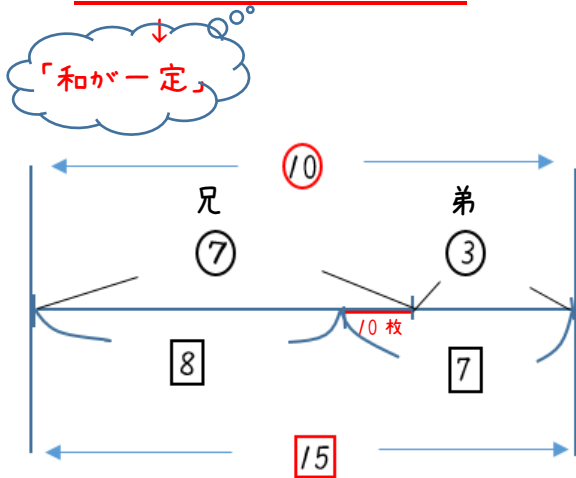


例題 6

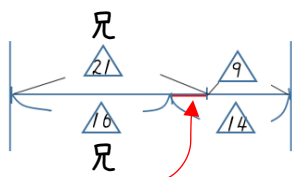
- (1) はじめ、兄と弟が持っているカードの枚数の比は $7 : 3$ ですが、兄が弟に10枚あげたので、兄と弟が持っているカードの枚数の比は $8 : 7$ になりました。はじめ、兄はカードを何枚持っていましたか。
- (2) はじめ、姉と妹の所持金の比は $11 : 7$ ですが、2人とも2600円ずつ使ったので、姉と妹の残りの所持金の比は $5 : 2$ になりました。はじめ、姉の所持金は何円でしたか。

(1)

兄は10枚へって 弟は10枚増えただけなので
2人の 合計の枚数は変わりません。



上の図より、 $10 = 15$ なので、最小公倍数の30にそろえるため、 $\bigcirc \times 3$ $\square \times 2$ をします。



すると、赤線部分は $(21 - 16) = 5$ になります。

比の5が10枚にあたるので、

比の1は $(10 \div 5) = 2$ 枚

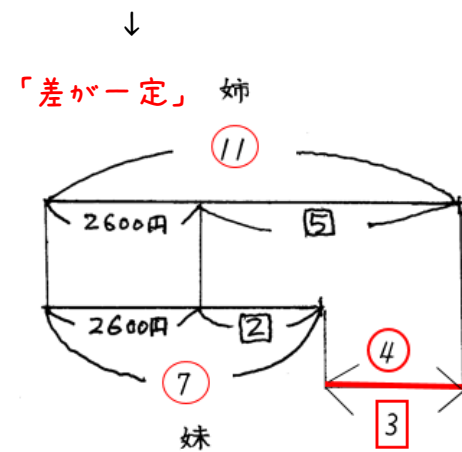
兄は21なので

$2 \times 21 = 42$ 枚...はじめの兄の枚数

42 枚

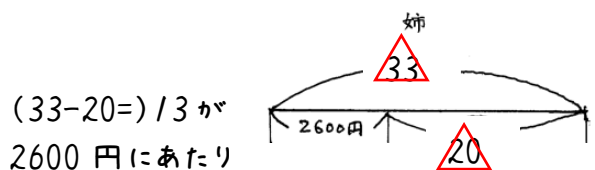
(2)

2人とも同じ金額が減っているので、2人の金額の差は変わりません。



赤線部分を最小公倍数の12にそろえるため、 $\bigcirc \times 3$ $\square \times 4$ をします。

姉の部分で考えると、



$(33 - 20) = 13$ が
2600円にあたり
ますから、

1 は $2600 \div 13 = 200$ 円

姉は33なので、

$200 \times 33 = 6600$ 円...はじめの姉の金額

6600 円